

ごみ処理方式選定にかかる評価の考え方

「◎」・「○」・「△」の3段階評価

大項目	中項目	小項目	評価	評価の考え方
安定性・安全性	安定稼働	1	ごみ質・量の変動への対応	定性 評価 幅広い対応ができる：◎ 一定の対応ができる：○ 対応ができない：△
		2	運転管理の難度	定性 評価 専門技術は必要なく、運転管理は容易：◎ 専門技術は必要であるが、運転管理は概ね容易：○ 専門技術が必要であり、運転管理は難しい：△
		3	システムの構成	定性 他方式と比較して、主要機器の構成が簡素か否か。 評価 主要機器の構成が簡素：◎ 主要機器の構成は中程度：○ 主要機器の構成が複雑：△
		4	安定稼働の実績	定量 焼却施設は、一系列あたり90日 <sup>※</sup> 以上の連続安定運転、メタン発酵施設は、一系列あたり1年 <sup>※</sup> 以上の作業計画日に安定運転した実績があるか否か。 ※「廃棄物処理施設整備国庫補助事業に係るごみ処理施設性能指針」（環境省 平成20年3月31日） 評価 焼却施設140日以上、メタン発酵施設1年半以上実績あり：◎ 焼却施設90日以上、メタン発酵施設1年以上実績あり：○ 焼却施設90日未満、メタン発酵施設1年未満：△
	安全性	5	非常時及び防災面への対応	定性 評価 他方式と比較して多様な対応策があり、安全な停止が期待できる：◎ 他方式と比較して標準的である：○ 一部不安有：△
		6	事故・トラブル事例及び労働安全衛生 ★	定性 近年において、炉の性能に起因する人的被害や処理停止等に関する事故・トラブル事例、また作業環境が悪化した事例があるか否か。 評価 人的被害や一定期間の停止等に関する事故・トラブル事例または作業環境が悪化した事例はほぼない：◎ 処理の不具合等が発生した事例はあるが、人的被害や一定期間停止する重大な事故はない：○ 人的被害や長期間にわたり停止する重大な事故・トラブル事例または作業環境が悪化した事例がある：△
経済性	建設	7	建設費	定量 他方式と比較して、建設費が低いかな否か。 評価 5方式の平均よりも低い：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも高い：△
	運転管理	8	運転・維持管理費	定量 他方式と比較して、運転管理・維持管理費が低いかな否か。 評価 5方式の平均よりも低い：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも高い：△
		9	最終処分に要する費用	定量 他方式と比較して、最終処分に要する費用が低いかな否か。 評価 5方式の平均よりも低い：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも高い：△
	附帯収入	10	売電収入	定量 他方式と比較して、売電収入が多いかな否か。 評価 5方式の平均よりも多い：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも少ない：△
環境性	資源化	11	物質回収及び焼却残渣の資源化	定性 物質回収及び焼却残渣の資源化が期待できるかな否か。 評価 大いに期待できる：◎ 期待できる：○ 期待できない：△
		12	エネルギー回収量	定量 他方式と比較して、施設から回収するエネルギー量の合計が多いかな否か。 評価 5方式の平均よりも多い：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも少ない：△
	最終処分負荷	13	最終処分量	定量 他方式と比較して、最終処分量が少ないかな否か。 評価 5方式の平均よりも少ない：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも多い：△
	公害防止性能	14	公害防止基準	定量 建設費や運転管理費を増加させることなく、公害防止基準を上回ることができるかな否か。 評価 上回ることができる：◎ 同等：○ 上回ることとはできない：△
		15	排ガス量	定量 他方式と比較して、排ガス量が少ないかな否か。 評価 5方式の平均よりも少ない：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも多い：△
	温暖化負荷	16	温室効果ガス発生量 ★	定量 他方式と比較して、温室効果ガス発生量が少ないかな否か。 評価 5方式の平均よりも少ない：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも多い：△

★：プラントメーカーからのアンケート調査対象外